



東京金山会通信 No.60

お笑い芸人「モズ」のご紹介

本年度の第65回総会は、令和6年6月16日(日)アートホテル日暮里ラングウッド(東京・荒川区)で開催いたします。今年の総会でも、昨年の「RADIO にゃ～にゃ～にゃ～(略称ラジにゃ～)」につづき、「都会でがんばる金山出身者」を応援すべく、お笑い芸人「モズ」にゲストとしてご登場いただく予定です。モズの柴田秀幸さんは金山町出身。ご本人からメッセージをいただきましたので、写真と一緒にご紹介いたします。

「モズ」のお二人に、総会でお会いできることを楽しみにしております。今後、益々活躍されるよう、みんなで応援し盛り上げていければと思います。東京金山会では「都会でがんばる金山出身者」を応援しています。今後も、たくさんの方を応援できるよう取り組んでまいります。

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435
mail: fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます



▶お笑い芸人「モズ」の2人
右が柴田秀幸さん

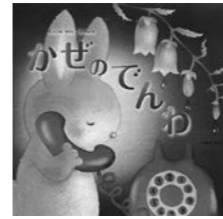
Instagram



七日町出身の柴田秀幸です。令和3年1月から芸人活動をはじめ、都内でライブに出ながらテレビのオーディションなど受けて、がんばっています。まだまだ結果は出ていませんが、夢は「売れてテレビで活躍すること」なので、どうぞ応援よろしくをお願いします。

No.218

森の子ども図書



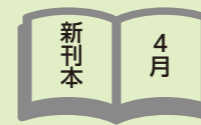
かぜのでんわ

作・絵：いもとようこ

山の上に1台の電話がおいてあります。この電話は心で話します。電話線はつながっていません。電話を取ったら静かに目を閉じ、耳を澄ましてください。もし風の音が聞こえたなら。もし浪の音が、小鳥のさえずりが聞こえたのなら。あなたの想いを伝えてください。…今日もだれかがやってきました。「会えなくなった人へ、伝えたい想いを伝えるために」

交流サロンポスト

月～金 12時30分～17時30分まで
※12・1・2月は17時閉館
※祝・盆・正月は休み



※()内作者名

◀今月は5冊! /

絵と文で味わう日本人のしきたり(飯倉晴武) / 黄色い家(川上未映子)

君が手にするはずだった黄金について(小川哲) / 水車小屋のネネ(津村記久子) / 存在のすべてを(塩田武士)

図書室だより



スピノザの診察室

夏川草介 / 水鈴社

今も現役医師として地域医療に携わりながら、命と向き合う日々を経験をもとに、温かく誠実な筆致で生み出し続けた著者の最新作。京都の市の中にある地域病院を舞台に、町の人たちのふれあいを通じ、生きることを本質を、深く優しいまなざしで綴った作品。命と向き合い続けた著者が到達した「人の幸せ」とは。



はじめのトレラン

並木雄一郎 / 東洋出版

トレランに興味はあるけど踏みとどまっているあなたへ。実は、トレランは歩いてもいいし、自分のペースで、自分なりに楽しめるスポーツなのです。本書では、偏りのないニュートラルな体を取り戻し、自分の「動き」をコントロールすることを学びます。すべてを解放して、山を楽しみましょう!

図書コーナー … 金山町中央公民館内 9:00 ~ 17:00

ふんげい

金山杉俳句会報 第四八五回

モルックに集ひ笑うや寒の餅
一筆箋余白は楽し春の夢
星川 キエ子

雪原を群青に化す雪眼鏡
虎落笛聴くも日の射す日曜日
岸 昭子

春めきて歩む五千歩日課なる
遠霞連山みごと水墨画
高橋 洋子

菩提寺の長き廊下に障間風
竹林に雀の親子しずり雪
鶴沼 よし子

百歳を迎えし町に春の風
なごり雪袖に落ちてはすぐに消え
阿部 一代

雁風呂は死語に在りずり浦曲の灯
杉花粉 丈六阿弥陀貫ひけり
栗田 弥超

かねやま紅風会

悲しみを見せぬ心の八十路坂
足腰に活を入れては春の畑
百歳をめざす体操春日より
荒屋 阿部 勝子

春一番香りも含む夜の膳
スーパーム春の足音餅タング
去りし日々老ひの山坂遠霞
荒屋 関 喜美子

白鳥の列も乱さず家族愛
春光の三寒四温に水の音
春雨や濡れて絆の夫婦愛
菅越 庄司 けみ子

春立や観音まいに指を折り
梅ふふむ己が誕生喜寿を越す
人生は片道切符老ひの坂
七日町 青柳 キエ子

老ひの身や肌に優しい春の風
故郷も少子高齢春霞
春日岸過ぎて散歩や野良の道
上台 阿部 一步

地域おこし協力隊 池田 達哉

飼育状況と新たな取り組みについて



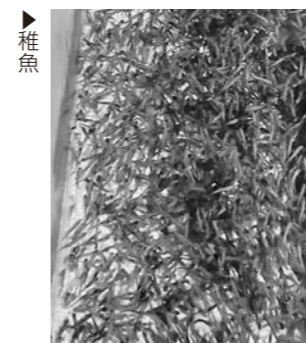
Instagramはこちら

金山町 地域おこし協力隊

春の日差しが煌めく季節になりました! 皆さんこんにちは。有屋の「いわなや」を、事業承継する活動をしております協力隊の池田です。今月のコラムは、昨秋に採卵した金やまめと神室イワナの飼育状況と、新年度にあたり、新たな活動としてグリーンバレーカムロー帯を盛り上げることに報告します。稚魚たちは、冬をこえて、日に3〜4度の給餌を経て成長しています。現在は、2〜3cm、体重も2グラム程度まで育っています。今年は、暖冬ということで稚魚たちが育つ飼育箱に引き込む沢水も、例年より温度が高い為、餌をしっかりと食べる事ができています。このまま順調に育つと、5月下旬には、郡内各河川へ放流デビューとなります。

次に、新年度は、金山町町制施行100周年事業が計画され、多くの観光客が訪れる機会になると思います。その観光客が楽しめる資源として、新たにグリーンバレーカムロー帯を盛り上げる活動を行います。グリーンバレーカムロー帯は、面で見ると「季節に応じて、車で5分圏内に、7つのエリア、15以上のアクティビティが楽しめる」というポテンシャルを持ち、更なる観光コンテンツを持つていけると考えています。

移動範囲が狭い中で、様々な体験ができることは、観光客にとって効率よく遊べる場所となる



り、来町の動機付けに十分に値すると思います。課題は、この地域の可能性をどうやって多くの方に表現PRしていくかということになるので、新たな協力隊と連携して魅力発信を実行していきたいと思っています!

日々の活動はInstagramで発信中です。ぜひ、フォローのほどよろしくお願いいたします。